

# 黒曜石

黒曜石は火山から生まれた「天然のガラス」。

割っただけで鋭い刃物になるこの石は、マンモスやオオツノジカなど大型の動物を追って遊動生活をした旧石器時代から、生活に欠かせない道具の材料として使われてきました。縄文時代においても、黒曜石は大切な存在でした。

## 斧形石器

木を伐採・土を掘る  
※写真の斧形石器は黒曜石ではありません

## 彫器

彫る

## 錐形石器

穴をあける  
※写真の左端一点のみが黒曜石です



## 搔器

皮をなめす

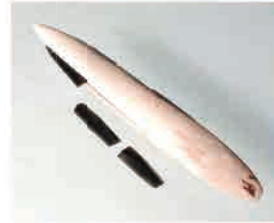
## 削器

切る・削る

撮影 佐藤雅彦

## 尖頭器

ヤリの先につける



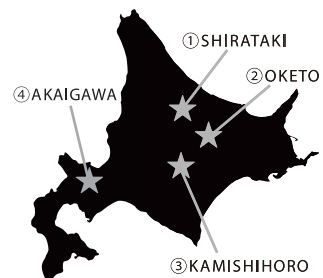
## 細石刃

狩る(替え刃)

## 黒曜石の産地

北海道の4大産地は、

- ①遠軽町白滝、②置戸町、
- ③上士幌町十勝三股、④赤井川村



## 黒曜石の色

黒  
じや  
ない

産地によって、赤褐色や白斑が混じったもの、白色や透明に近いものや、南米産の黒曜石は緑色かかったものも。



木古内町で出土した長野県産の透らかな黒曜石の矢じり  
北海道立埋蔵文化財センター所蔵

# 縄文人と黒曜石

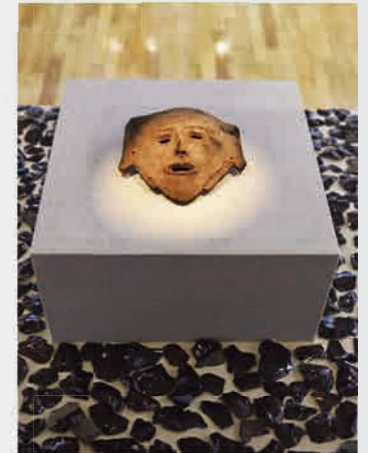
旧石器時代が終わって暖くなった縄文時代。シカやウサギなどの中・小動物が出現し、木の実や魚貝を食糧として定住し始めました。石器の形も使い方も、環境にあわせて変わっていきました。

## 「矢じり」もモデルチェンジ!



獲物をとるために、矢の先につける矢じりを作った縄文人。特に暖かくなって食糧を得やすくなった「縄文中期」は、あまり上手ではない?

## ママチ土面と黒曜石



土面: 国(文化庁)保管

ママチ遺跡の墓からは、黒曜石が副葬品としてたくさん出土しました。遠軽町や置戸町からはるる運ばれたようです。

## 異形石器は何のため?



不思議な形のいろいろな石器も出土しています。一体何に使ったのか? 縄文人にとって黒曜石はどんな存在だったのか...? ナゾが深まります。

※北海道立埋蔵文化財センターで聞てきました。(写真の出土品は同センター所蔵)